

クラウド BOT セキュリティホワイトペーパー

3.3 版

2024 年 11 月 12 日

株式会社 C-RISE

1 データ保管場所

- お客様からお預かりしたデータは、AWS 東京リージョンに保管されます。

2 暗号化の状況

- データベースに保管される、お客様の各種情報（メールアドレス、各機能で利用するデータなど）は、データベースに格納する際に、AWS による TDE 方式にて暗号化された状態で保管されます。パスワードは、不可逆暗号化(ハッシュ化)された状態で、データベースに保管されます。
- お客様の端末と、システムとの間のインターネット通信は、SSL 通信(SHA256)によって暗号化されます。

3 バックアップの状況

- データベースに保管される、お客様の各種情報（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど）は、日次でバックアップを取得しています。バックアップは、最大 10 世代分保管されます。
- 但し、バックアップデータの復元等に関するお客様からの要望は、承っておりません。

4 ログのクロックに関する情報

- クラウド BOT 内で記録されるログは、タイムゾーン UTC で保管されます。ただし、お客様に提供しているログについては、お客様の利便性を考慮し、契約時に表示されるログのタイムゾーンを指定することが可能です。
- サーバーのタイムゾーンは、AWS が提供する NTP サービスと同期しています。

5 脆弱性管理に関する情報

- システムで利用している OS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報を、定期的に収集しています。
- システムで利用しているコンポーネントに対する脆弱性パッチが公開された場合は、テスト環境での検証を経た後、速やかに適用されます。

6 開発におけるセキュリティ情報

- サービスの開発には、業界標準のガイドラインや、社内で定められたコーディング規約に従って実施されます。

7 お客様データの保護及び第三者提供について

- データセンタにおけるストレージ機器や装置の処分に関しては、AWS の廃棄プロセスに従います。

8 インシデントの報告に関する情報

- お客様に大きな影響を与えるセキュリティインシデント(データの消失、長時間のシステム停止等)が発生した場合は、インシデントを検知してから 72 時間以内を目標に、ご契約アカウントのメールアドレス宛にメール連絡いたします。
- 情報セキュリティインシデントに関する問合せは、本セキュリティホワイトペーパー末尾の「クラウド BOT サポート窓口」より受け付けています。

9 記録の保護に関する情報

- ログデータを含むお客様データは、不正なアクセスや改ざんを防ぐため、開発チームの一部の人間しかアクセスできない、限られたアクセス権のもとで保管されます。
- BOT 実行ログは、契約期間中、契約された容量まで保管が可能です。

10 外部委託先に関する情報

- サービス提供に関する業務の一部を、以下の外部サービスに委託しています。
 - ・ AWS (インフラ構築・運用)
 - ・ Stripe (クレジットカード決済)
 - ・ SendGrid (メール配信)
 - ・ Zendesk (チャットサポート)
 - ・ Make (オペレータ業務の自動化)
 - ・ ChatGPT (仮想ブラウザの拡張機能)
 - ・ Azure AI Document Intelligence (仮想ブラウザの拡張機能)

11 情報セキュリティの独立したレビューに関する情報

- 株式会社 C-RISE は、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS 適合性評価制度における、ISMS 認証(ISO27001)を取得しています。
- 株式会社 C-RISE は、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS 適合性評価制度における、ISMS クラウドセキュリティ認証(ISO27017)を取得しています。
- 株式会社 C-RISE は、日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)が運営する、プライバシーマーク制度における、プライバシーマークを取得しています。

クラウド BOT サポート窓口

メールアドレス: support@c-bot.pro